



「シンプル」→「伝わる・わかる」→「つながる」→「安心」

学校だより

令和 5年 2月 1日
東京都立羽村特別支援学校長
外山 裕介

副校長 西村 孝法

一年間の「健康祈念」

日頃より、本校の教育活動に御理解と御協力をいただきありがとうございます。

1月25日には、記録的な大寒波に見舞われ、連日この影響に関する報道が見られました。幸い、本校の関係する地域においては大きな影響もなく、通常の教育活動が実施できました。今後は、本格的な降雪・路面凍結のシーズンとなりますので、引き続き御注意ください。

さて、気が付けば令和5年がスタートし、早1か月が過ぎました。2月には、春の行事として「節分」があります。邪気を祓い清め、一年間の無病息災祈る行事として行われています。この「節分」の日には、「恵方巻」を食べる習慣も広く知られていますが、「節分の夜に、恵方に向かって願い事を思い浮かべながら丸かじり(丸かぶり)し、言葉を発せずに最後まで食べると願い事がかなう」とされています。地域により、やり方は様々なようですが、どのような形でも、無病息災を祈る気持ちや、健康で過ごせるよう願う気持ちは皆同じです。御家庭で「豆まき」や「恵方巻」を



行う際には、この意味を考えながら行うことで、健康に一年間を過ごせるよう、今後の意識につながるかもしれません。機会がありましたら、お試しください。

新型コロナウイルス感染症の猛威が続いていますが、皆様の「無病息災」「健康な一年間」を祈念いたします。

授業参観週間の実施

1月17日(火)～1月19日(木)の計3日間に渡り、授業参観を実施しました。御来校いただいた皆様、オンラインにて御参観いただいた皆様、ありがとうございました。今回の授業参観では、延べ303人の御来校をいただきました。感染症対策により来校の機会が限られる中ですが、子供たちの学習の様子や頑張る姿など、御覧いただいたことを御家庭での話題の一つとしていただき、子供たちの充実感や次のチャレンジへの意欲につながっていければと思います。また、御参観いただいた御感想や御意見などは、今後の教育活動に生かし、さらに改善・充実をすすめてまいります。

(右上に続く)

防災教育の推進

本校では、毎月「避難訓練」を実施しています。内容は、地震や火災が起きた際の避難が主ですが、より実際に想定し、地震後に火災の発生を想定した訓練や、停電による電源が使えない(放送機器の使用不可)状況を想定した訓練など、内容を工夫して実施しています。さらに、これまで新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防として、学年を絞った避難訓練を行ってききましたが、12月の避難訓練からは、感染症対策を行いつつ全校避難を実施しています。そして、昨今の社会情勢を鑑み、2月には「Jアラート訓練」を計画しています。近隣国からの飛来物によるJアラートの発報に対応する訓練として、「建物内での命を守る行動」や「周囲の状況に応じた行動・判断」について訓練を実施します。今後も、学校生活における「安全・安心」の確保に向け、取り組んでまいります。

50周年キャラクター決定！

本校は、令和5年度に「創立50周年」を迎えます。それに伴い、PTAと連携し、「50周年記念キャラクター選挙」を令和4年12月に実施しました。キャラクターについては、子供たちからの募集作品の中から候補作品をしぼり、オンラインでの「Forms」を活用して行いました。画像を選択するアンケート形式にし、全ての児童・生徒にも投票できるよう工夫して、純粋に子供たちの投票をもってキャラクターを決定しました。残念ながら選考に漏れた作品の中にも魅力的な作品が多数あるため、募集作品の活用についてもPTAの中で検討



されていると聞いています。今後のお披露目に御期待ください。

羽村市の鳥「アオバスク」の双子です！

学校だよりはHPIにもアップされています。将来的に、学校だよりのオンライン配布の可能性も考え、スマートフォンでも読めるよう文章を2段組みといたしました。

感想等ございましたら、連絡帳等を通してお聞かせください。